

NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

ORMZ ニュース第91号 (H31.2.27)

事務局：宮崎市生目台西 4-7-7 (メール info@ormz.or.jp) 文責：日高良雄



はじめに

2月末となり宮崎では春の息吹があちこちで感じられ、菜の花やモクレンの花が咲き誇っています。

さて、当法人も設立から足かけ8年目となり、無事総会も終わることができ、昨年の活動報告と共に、31年度の活動計画、予算を承認していただきました。

今回のニュースでは、昨年の活動報告をメインにお届けします。

新たなる気持ちで、皆様のご支援をいただきながら、困難を乗り越え、活動を進めていきたいと考えております。今後ともどうぞよろしくお願いします。

会の経過報告

- ・平成31年2月3日、理事会を開催し、30事業年の活動報告、決算及び31事業年の活動計画案、予算案等について協議しました。
- ・理事会を受け、平成30年2月24日、通常総会を開催し、30事業年活動報告、決算、31事業年活動計画案、予算案等について協議し、原案通り承認されました。
- ・総会終了を受け26日、宮崎市に活動実績報告書を、認定NPO法人の所轄庁である宮崎県に役員報酬規定等提出書の届け出を行いました。なお昨年の法改正で資産の変更登記は不要となりました。

30事業年の活動報告、決算及び31事業年活動計画、予算について

30年活動報告

(詳細はホームページ「<http://ormz.or.jp/>」をご覧ください)

①巡回診療事業 車両の都合がつかなくなったり(故障、焼失等)、雨期の道路状況悪化などにより回数が少なくなり、合計37回実施しました。チサンバ郡ルアノ地区でサンダラ村を含め24回、ニャンカンガ地区で12回、サンダラから更に2時間走った隣のルアノ郡のリテタ地区からの依頼を受け、保健省からの許可をやっと取り11月に1回実施(12月は雨のため中止)しました。

なお、巡回診療スタッフの一人である準医師ムレタ氏の住むチボンボ郡ルカタ地区に対し、抗マラリア薬、マラリア検査キット、解熱剤などを提供し、ムレタ氏がコミュニティヘルスワーカーとともに診療を実施しました。

②倉庫等施設建設 サンダラ村に患者ファイルを保管する倉庫及び診察室、会議室として機能できる建物を建設しました。ニャンカンガ地区で予定していた患者の待合所としてのベランダは、材木を運ぶ車両の手配がつかず建設中、ルアノ地区の学校での清潔なトイレ2基も建設中です。

③コミュニティヘルスワーカー(CHW)のリフレッシャー研修 5/31~6/2、12/6~12/8の2回に分けて14名のCHWと1名のコミュニティヘルスアシスタントに対して実施(1名のサンダラのCHWは結婚で転居)しました。小児保健のマニュアルを復習し、薬剤の処方、特に抗マラリア薬に関する注意事項、レポートの書き方などを彼ら自身のレポートをチェックしながら指導しました。

④ネイバーフードヘルスコミッティ (NHC) メンバー等へのセミナー 4～5月、10～11月にルアノ・ニャンカンガ地区で、4月にルカタ地区で実施した。ルアノ・ニャンカンガ地区ではマラリア蚊殺虫剤噴霧活動に関して主に実施しました。

⑤保健衛生啓発活動 性病予防に関して若い男性の参加を促す目的でサッカー大会を5～6月にルアノ・ニャンカンガ地区で実施しました。

⑥収入創出活動 CHW及びNHCのメンバーの活動を支援するため患者ノート販売を実施。

⑦井戸の建設 安全な飲料水確保のために、ルカタ地区に深井戸を1基建設(水質検査問題なし)。

⑧マラリア蚊殺虫剤噴霧 ルアノ地区全村に2回(4～5月 247家族 428戸、11月 180家族 320戸)。ニャンカンガ地区全村で2回(5月 138家族 282戸、11月 141家族、258戸)実施しました。
その結果、マラリア患者数は減少しています。

⑨活動の広報等 三重大、藤田保健衛生大学、大阪大学の医学生、医師が巡回診療活動に参加、見学。活動ニュースをメール等で計12回(第78号～第89号)送信。適宜ホームページの更新。

宮崎日日新聞主催の講演会で活動を紹介すると共に、アフリカ協会主催のアフリカ会合とザンビアでの国際協力塾において活動を紹介する発表を行いました。

⑩「風に立つライオン基金」2018年度公募助成金 助成を受け、CHWのリフレシヤ研修(12月分)や一部配布薬剤等の購入、活動支援のための自転車配布を実施しています(31年7月まで継続)。

地区名	ルアノ地区	ニャンカンガ地区	サンダラ地区	リタタ地区	合計
		16回	12回	8回	1回
診療患者数	1,194	838	479	113	2,624
新受付患者数	282	282	281	109	954
5歳未満児数	346	261	148	40	795
疾患別患者数					
マラリア(疑い)	54	21	113	18	206
マラリア検査陽性数/総数	50/1095	21/796	102/459	18/107	191/2457
5歳未満児マラリア検査陽性数/総数	14/326	2/252	30/140	7/39	53/757
疾患内訳					
耳の疾患	29	9	10	1	49
鼻の疾患	0	0	0	0	0
のどの疾患	18	8	2	1	29
喘息	15	11	4	0	30
高血圧症	37	34	5	4	80
てんかん疑い	7	30	2	0	39
貧血	8	2	4	1	15
う歯(口腔内疾患含む)	94	51	43	3	191
胃腸炎	92	66	39	30	227
他の消化器疾患	75	67	42	4	188

結膜炎など	106	51	43	11	211
寄生虫疾患	33	37	24	6	100
腰痛などのからだの痛み	211	117	94	25	447
新生物	0	2	0	0	2
頭痛	20	10	9	3	42
原因不明の熱性疾患	12	3	2	0	17
気道感染症	542	390	154	33	1,119
肺炎	26	27	14	1	68
栄養不良	8	7	1	1	17
皮膚疾患	107	122	41	9	279
外傷	6	4	8	0	18
熱傷	1	2	2	0	5
ビルハジア	11	3	15	6	35
赤痢疑い	14	19	21	25	79
性感染症	25	16	3	0	44
その他	50	28	24	1	103
妊産婦健診受診者数	197	68	41		306
家族計画受診者数	294	139	44		477
HIV・AIDS 検査陽性数/総数	1/149	1/20	0/44	1/1	3/214
巡回診療後の CHW によるマラリア 検査陽性数/総数	292/903	1146/1892	535/844		1973/3639

30 年決算報告

・**経常収益** 会費・賛助会費収入が 4,382,853 円(前年比約 70 万円増)、寄附金収入が 10,698,245 円(前年比約 600 万円増)、ライオン基金助成金や雑収益を含め**総計 16,607,491 円**となりました。

10 月、11 月にテレビ東京、UMK テレビ宮崎によるテレビ放映があり、多くの方から多額の寄付が寄せられました。またライオン基金助成を得ることもでき、収益が予算を 750 万円上回りました。

・**経常費用** 支出の多い順に旅費交通費(レンタカー代、ガソリン代やザンビア渡航費) 2,644,869 円(前年比約 30 万円増)、薬剤購入費 1,303,405 円(前年比約 50 万円減)、殺虫剤噴霧活動費 1,293,467 円、人件費(現地での雇用、臨時雇いあげ費) 1,210,091 円、車両維持経費(保険含む) 870,188 円(前年比約 280 万円減)など、**総計 11,076,598 円**でした。

車が稼働しなくなったため、旅費交通費についてはレンタカーの借り上げ等により予算の倍となりましたが、車両維持費は予算より 100 万円減となりました。マラリア予防効果により、薬剤購入費が予算の半分となり、殺虫剤噴霧活動費が、噴霧期間が計画より長引いたこと、レンタカーを借りたこと、燃料代の値上がりのため予算より 80 万円ほど増額となりましたが、経常費用については予算とほぼ同額でした。

・**経常外収益** 車の売却で約 40 万円、焼失した車の保険金で約 80 万円の経常外収益がありました。

・**繰越正味財産** 結果、当期正味財産として 6,797,082 円の増額となり、**16,199,205 円**となりました。

31 年事業計画、予算

・平成 31 年もこれまで同様、巡回診療事業、地域住民への保健衛生啓発事業を継続実施します。

①巡回診療 雨季が終わった 5 月頃からはルアノ、ルアノサンダラ村、ニャンカンガ、ルアノ郡リタタの 4 地区でそれぞれ月 1 回実施する(サンダラ村、リタタは雨季で通行が難しければ、一時中止とする)。なお雨季の間は、ルアノ、ニャンカンガ原則月 1 回実施とするが、サンダラに行けない場合はルアノ月 2 回になることもあり。これらは使用できる車両の状況によって変更される可能性あり。

②倉庫等施設建設 ニャンカンガ地区での患者待合所としてのベランダ建設、及びルアノ地区での学校近くの清潔なトイレ建設を完成させる。

③コミュニティヘルスワーカー (CHW) のリフレッシャー研修及びネイバーフッドヘルスコミッティ (NHC) メンバー等へのセミナー CHW のリフレッシャー研修と NHC メンバーを含めたセミナーを実施する。

④保健衛生啓発活動 地域住民に対する保健衛生啓発活動、性病予防として若い男性の参加を促す目的でサッカー大会を実施する。

⑤収入創出活動 CHW 及び NHC の収入創出活動を実施する。

⑥マラリア蚊殺虫剤噴霧 ルアノ・ニャンカンガ地区全村に 1 回マラリア蚊殺虫剤噴霧を実施する。

⑦活動の広報等 広報活動として毎月会のニュースを発行すると共に、ホームページにて広報を行う。

・事業予算 経常収益を 9,580,000 円とし、巡回診療の薬剤購入費、車両維持、旅費交通費、マラリア蚊殺虫剤噴霧活動費、啓発・研修費等で経常費用を 10,567,910 円としています。

・今事業年度においては、ヘルスポスト建設に向けたより具体的な様々な手続き等の事務処理や、昨年 12 月事務所に泥棒が入ったことへの対処などから、ザンビア現地事務所で業務を行ってもらうための信頼できる日本人を雇用する費用を盛り込んでいます。

*詳しくはホームページに掲載しておりますのでご覧ください。(<http://ormz.or.jp/>)

賛助会費の納入と寄附受領証明書の送付について

・新しい事業年度(事業年度は 1 月から 12 月)となりました。賛助会費(個人一口 5000 円、団体一口 10000 円、一口以上)及びご寄附(金額は問いません)のご協力をお願いします。

・入金を確認しました際には、日高からその旨メール(又は郵便)を差し上げます。また当法人は認定 NPO 法人であり、ご寄附(賛助会費含む)いただいた際には、翌年の確定申告で税制上の優遇措置を受けるための寄附受領証明書(賛助会費も寄附金と同様税控除の対象)をお届けしますので、確定申告の際まで大切に保管しておいてください。ご不明の点は日高(info@ormz.or.jp)までご連絡ください。

★郵ちょ銀行からの振替 口座記号 01720-9 口座番号 126351
加入者名 NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

★他の金融機関からの送金 郵ちょ銀行 店名:一七九、預金種目:当座、口座番号:0126351
加入者名: NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会
カナ名称(全角):トクヒ)ザンビアノヘンチイリョウヲシエンズルカイ

以上

平成 31 年もどうぞご支援のほどよろしく申し上げます